



Monthly Report

～住友信託の経済・市場情報～

Contents

● 経済振り返り

- 10月の市場動向まとめ
- 主な経済指標(国内)
- 経済振り返り(国内)
- 主な経済指標(海外)
- 経済振り返り(海外)
- 日本・米国・アジアのGDP成長率

● 市場振り返り

- 国内債券・国内株式
- 米国債券・米国株式
- 為替

● 経済・市場見通し

- 内外経済
- 国内資産・海外資産・為替

● ご参考

- 市場環境の推移



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行



● 経済振り返り

◦ 10月の市場動向まとめ

◦ 主な経済指標(国内)

◦ 経済振り返り(国内)

◦ 主な経済指標(海外)

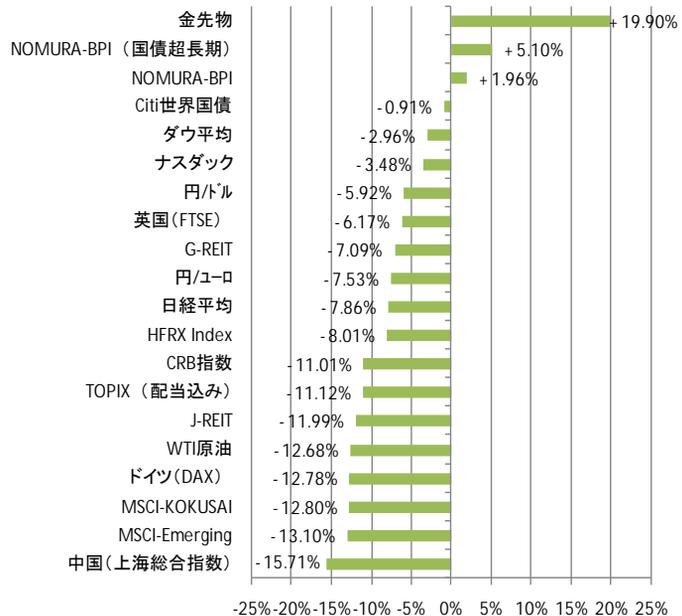
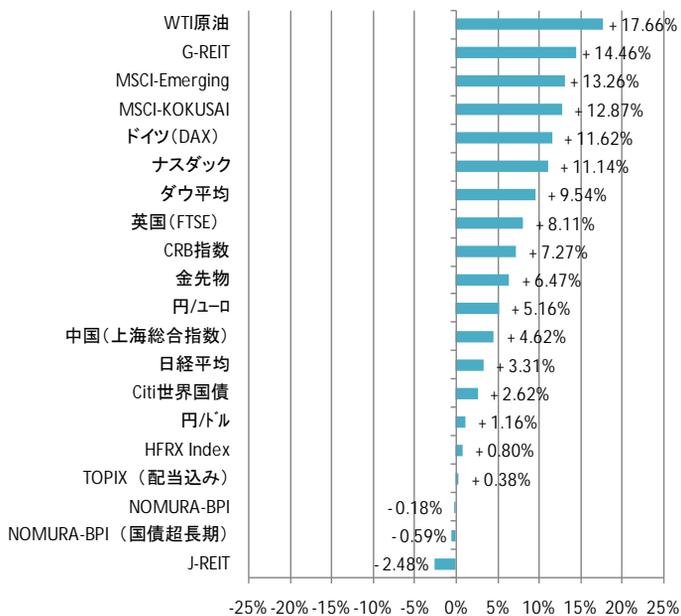
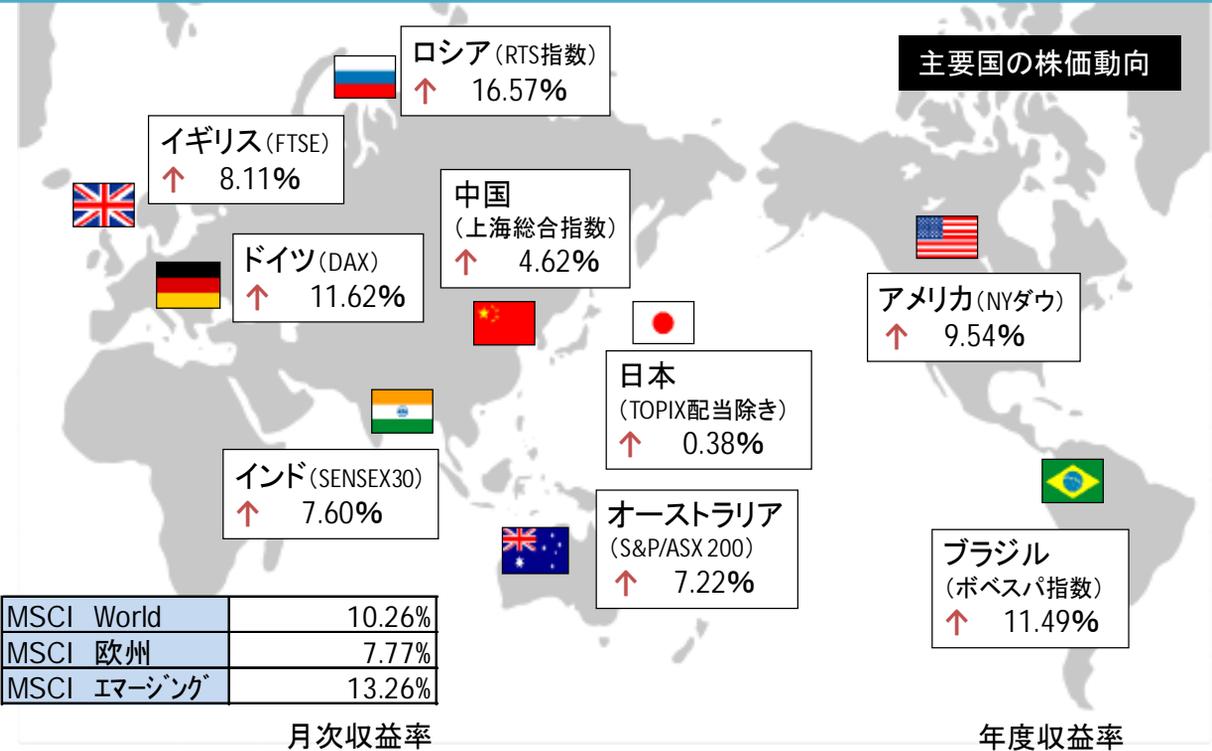
◦ 経済振り返り(海外)

◦ 日本・米国・アジアのGDP成長率



10月の市場動向まとめ

10月の株式市場は、米国の雇用統計が市場予想を上回ったことや欧州連合(EU)が欧州債務問題の克服に向けた包括案に合意したことなどから投資家心理が改善したことで、世界的に大きく反発する展開となりました。



(注) J-REIT: 東証REIT指数(配当込み)、

G-REIT: S&P Citigroup World REIT (日本除き、円ベース)

(出所) Bloomberg

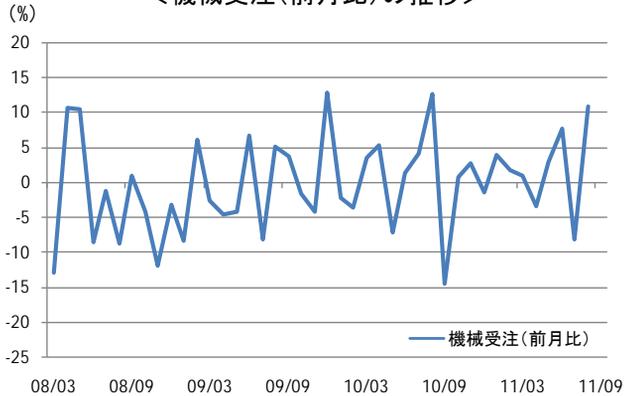
主な経済指標(国内)

	経済指標	実績	前回
10月3日	8月 貸出先別貸出金 法人(前年比)	-1.60%	-1.60%
10月3日	7-9月期 日銀短観 大企業製造業業況判断	+2	-9
10月3日	7-9月期 日銀短観 大企業非製造業業況判断	+1	-5
10月3日	7-9月期 日銀短観 大企業製造業先行き	+4	+2
10月3日	7-9月期 日銀短観 大企業非製造業先行き	+1	-2
10月3日	7-9月期 日銀短観 大企業全産業 設備投資	3.00%	4.20%
10月3日	9月 自動車販売台数(前年比)	1.70%	-25.50%
10月4日	9月 マネタリベース(前年比)	16.70%	15.90%
10月4日	8月 毎月勤労統計-現金給与総額(前年比)	-0.60%	-0.20%
10月6日	9月 都心オフィス空室率(%)	8.64%	8.65%
10月7日	8月 景気一致CI指数	107.4	107.1
10月7日	8月 景気先行CI指数	103.8	104.6
10月11日	8月 国際収支-経常収支(前年比)	-64.30%	-42.40%
10月11日	9月 企業倒産件数(前年比)	-9.20%	-3.60%
10月11日	9月 消費者態度指数	38.6	37
10月11日	9月 景気ウォッチャー調査-現状判断DI	45.3	47.3
10月11日	9月 景気ウォッチャー調査-先行き判断DI	46.4	47.1
10月12日	8月 機械受注(前月比)	11.00%	-8.20%
10月12日	8月 機械受注(前年比%)	2.10%	4.00%
10月12日	9月 工作機械受注(前年比)	20.30%	15.20%
10月14日	9月 国内企業物価指数(前月比)	-0.10%	-0.20%
10月14日	9月 国内企業物価指数(前年比)	2.50%	2.60%
10月17日	8月 鉱工業生産(前月比)	0.60%	0.60%
10月17日	8月 鉱工業生産(前年比%)	0.40%	0.40%
10月17日	8月 稼働率指数(前月比)	2.40%	0.60%
10月18日	9月 工作機械受注(前年比)	20.10%	20.30%
10月19日	8月 全産業活動指数(前月比)	-0.50%	0.40%
10月24日	9月 通関ベース貿易収支	3,004億	-7,796億
10月24日	9月 全国スーパー売上高(前年比)	-3.60%	-2.20%
10月26日	9月 企業向けサービス価格(前年比)	-0.10%	-0.30%
10月27日	9月 小売業販売額(前年比)	-1.20%	-2.60%
10月27日	9月 小売業販売額指数(季調済/前月比)	-1.50%	-1.70%
10月27日	9月 大型小売店販売額(前年比)	-3.60%	-2.60%
10月28日	9月 有効求人倍率	0.67	0.66
10月28日	9月 全世帯家計調査 消費支出(年比)	-1.90%	-4.10%
10月28日	9月 失業率	4.10%	4.30%
10月28日	9月 全国CPI(前年比)	0.00%	0.20%
10月28日	9月 全国CPI(除生鮮/前年比)	0.20%	0.20%
10月28日	9月 全国CPI(除食料エネ/前年比)	-0.40%	-0.50%
10月28日	9月 自動車生産(前年比)	-4.50%	1.80%
10月31日	9月 建設工事受注(前年比)	-9.30%	9.30%
10月31日	9月 住宅着工戸数(前年比)	-10.80%	14.00%

経済振り返り(国内)

機械受注(8月):
前月比+11.0%

<機械受注(前月比)の推移>



8月の機械受注(船舶・電力除く民需)は、製造業が牽引し、前月比+11.0%と事前予想(同+3.9%)を上回りました。

景気ウォッチャー調査(9月):

現状判断DI: 45.3 先行き判断DI: 46.4

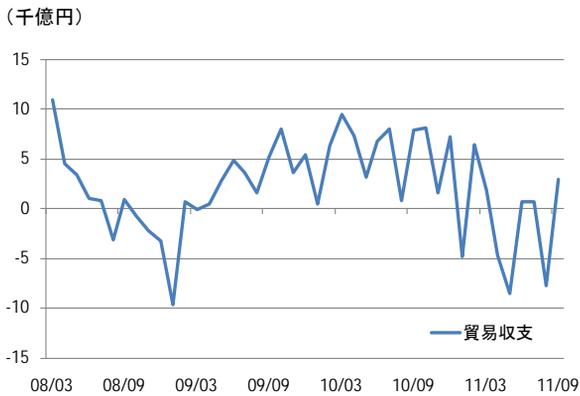
<先行きDI・現状DIの推移>



9月の現状判断DIは45.3(8月:47.3)となり、2ヵ月連続で低下しました。先行き判断DIは46.4(8月:47.1)となり、3ヵ月連続で低下しました。

貿易収支(9月):
3,004億円の黒字

<貿易収支の推移>



9月の貿易収支は2ヵ月ぶりに黒字(+3,004億円)となりました。輸出は、前年比+2.4%となり、輸送用機器の寄与度が高くなりました。

日銀短観(9月):

業況判断DI:+2 先行き判断DI:+4

<日銀短観の推移>



9月の日銀短観は、大企業製造業の業況判断DIは「▲9」から「+2」に改善し、先行きDIは「+2」から「+4」に改善しました。ただし、大企業全産業ベースの設備投資計画は前年比+4.2%から+3.0%に下方修正されています。

主な経済指標(海外)

<米国>

	経済指標	実績	前回
10月3日	9月 ISM製造業景況指数	51.6	50.6
10月5日	9月 ISM非製造業景況指数(総合)	53	53.3
10月7日	9月 非農業部門雇用者数変化	+10.3万人	+5.7万人
10月7日	9月 失業率	9.10%	9.10%
10月7日	9月 不完全雇用率(U6)	16.50%	16.20%
10月7日	9月 時間当り平均賃金(全従業員/前月比)	0.20%	-0.20%
10月7日	9月 時間当り平均賃金(全従業員/前年比)	1.90%	1.80%
10月14日	9月 輸入物価指数(前月比)	0.30%	-0.20%
10月14日	9月 輸入物価指数(前年比)	13.40%	13.00%
10月14日	9月 小売売上高	1.10%	0.30%
10月17日	9月 鉱工業生産	0.20%	0.00%
10月17日	9月 設備稼働率	77.40%	77.30%
10月19日	9月 消費者物価指数(前月比)	0.30%	0.40%
10月19日	9月 CPI(除食品&エネルギー/前月比)	0.10%	0.20%
10月19日	9月 消費者物価指数(前年比)	3.90%	3.80%
10月19日	9月 CPI(除食品&エネルギー/前年比)	2.00%	2.00%
10月19日	9月 消費者物価指数(季調前)	226.89	226.55
10月19日	9月 住宅着工件数(前月比%)	15.00%	-7.00%
10月20日	9月 景気先行指標総合指数	0.20%	0.30%
10月20日	10月 フィラデルフィア連銀	8.7	-17.5
10月20日	9月 中古住宅販売件数(前月比)	-3.00%	8.40%
10月24日	9月 シカゴ連銀全米活動指数	-0.22	-0.59
10月25日	10月 消費者信頼感指数	39.8	46.4
10月25日	8月 住宅価格指数(前月比)	-0.10%	0.00%
10月25日	10月 リッチモンド連銀製造業指数	-6	-6
10月26日	9月 耐久財受注(前月比)	-0.80%	-0.10%
10月26日	9月 耐久財(除輸送用機器)	1.70%	-0.40%
10月26日	9月 新築住宅販売件数(前月比)	5.70%	-0.30%
10月27日	9月 中古住宅販売成約(前月比)	-4.60%	-1.20%
10月27日	9月 中古住宅販売成約(前年比)	7.90%	13.10%
10月28日	10月 カンザスシティ連銀製造業活動	8	6

<ユーロ圏>

	経済指標	実績	前回
10月3日	9月 PMI製造業	48.5	48.4
10月5日	8月 ユーロ圏 小売売上高(前月比)	-0.30%	0.20%
10月14日	9月 ユーロ圏CPI(前月比)	0.80%	0.20%
10月20日	10月 ユーロ圏 消費者信頼感	-19.9	-19.1
10月27日	10月 業況判断指数	-0.18	-0.06
10月31日	9月 ユーロ圏 失業率	10.20%	10.10%

経済振り返り(海外)

ISM景況指数(9月):
製造業51.6 非製造業53.0

<ISM景況指数の推移>



9月のISM景況指数は、製造業は事前予想(50.5)を上回る51.6となり、3ヵ月ぶりに改善しました。非製造業は53.0となり、事前予想(52.8)を上回りました。

米雇用統計(9月):
非農業部門雇用者数 前月比+10.3万人

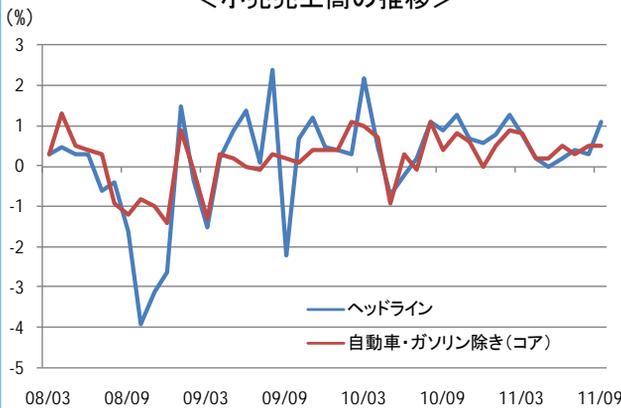
<非農業部門雇用者数変化と失業率>



非農業部門雇用者数は前月比+10.3万人となり、事前予想(同+6.0万人)を上回りました。失業率は9.1%と横ばいでした。

米小売売上高(9月):
前月比+1.1%

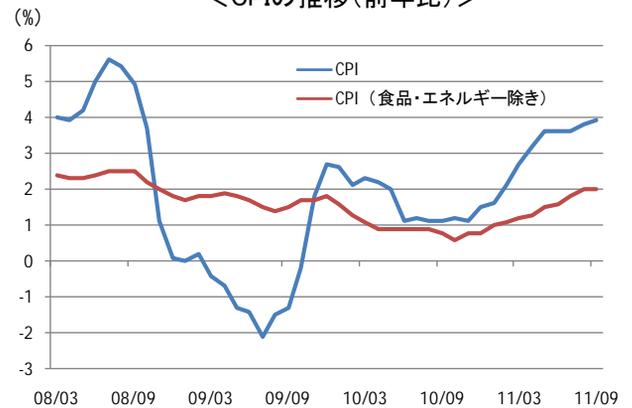
<小売売上高の推移>



米小売売上高(ヘッドライン)は前月比+1.1%と今年2月(同+1.3%)以来の増加幅となりました。また、自動車・ガソリン除き(コア)は同+0.5%となりました。

CPI(9月):
前年比+3.9%

<CPIの推移(前年比)>

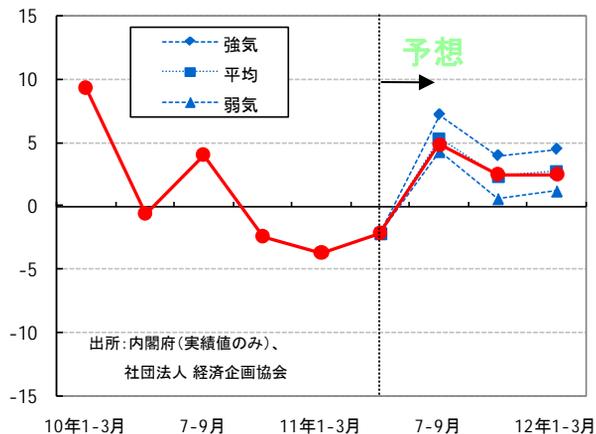


米消費者物価指数は前年比+3.9%となり、前月(同+3.8%)より上昇しました。米消費者物価指数(食品・エネルギー除き)は前年比+2.0%となり、前月(同+2.0%)から横ばいとなりました。

日本・米国・アジアのGDP成長率

日本

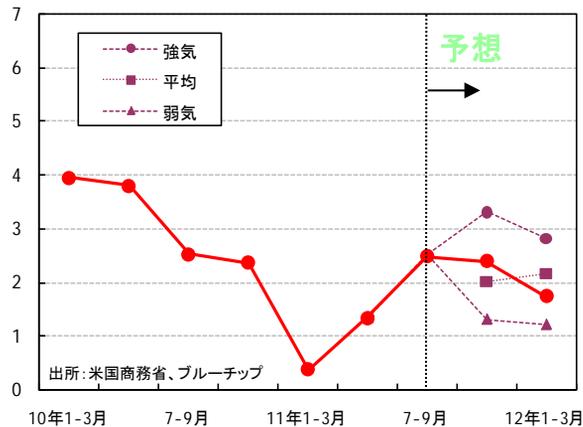
日本:実質GDP成長率(前期比年率%)



日本の4-6月期の実質GDP(確報)は、前期比年率で▲2.1%となりました。マイナス成長は3期連続で、東日本大震災を受けて個人消費や輸出がマイナスとなったことが大きく影響しました。

米国

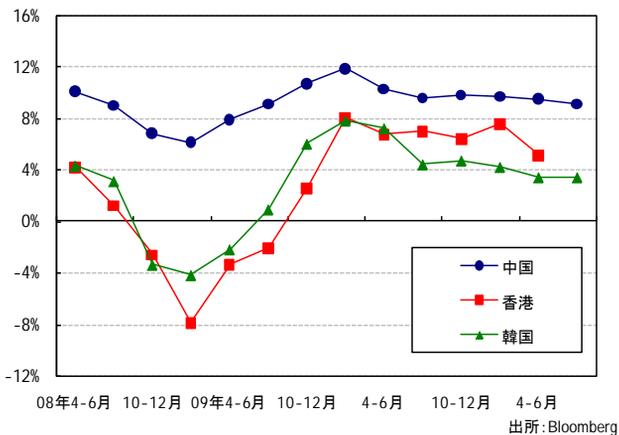
米国:実質GDP成長率(前期比年率%)



米国の7-9月期の実質GDP(速報値)は、前期比年率で+2.5%となり、2010年7-9月期(同+2.5%)以来、4四半期ぶりの高い水準を回復しました。特に個人消費の回復や設備投資の増加が寄与しました。

アジア

アジア:実質GDP成長率(前年比%)



中国の7-9月期の実質GDPは、前年同期比+9.1%となりました。4-6月期の同+9.5%からやや鈍化し、エコノミスト調査の中央値(同+9.3%)も下回りました。

Note

● 市場振り返り

ü国内債券・国内株式

ü米国債券・米国株式

ü為替

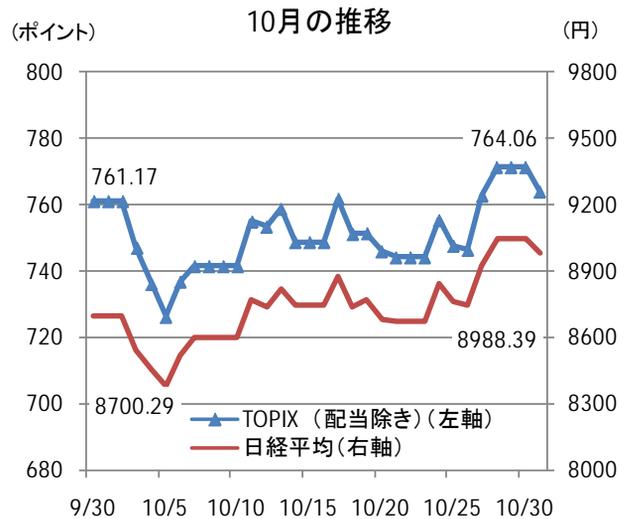
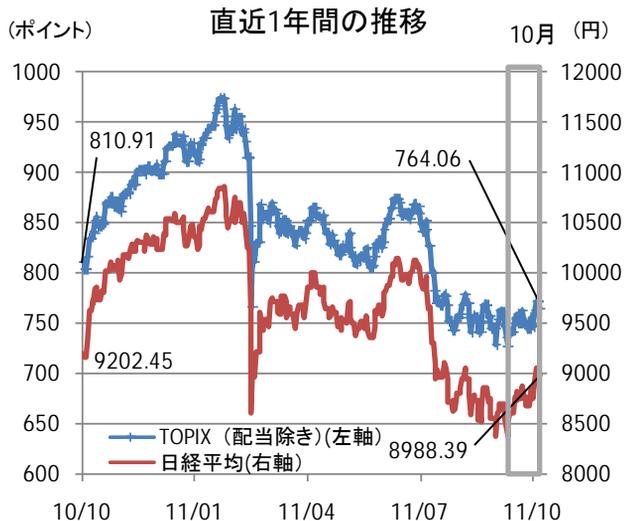
市場振り返り ～国内債券・国内株式～

国内債券



【10月の振り返り】国内10年債利回りは、欧州債務問題に対する懸念から質への逃避が強まったことで月初は低下しましたが、その後米国の雇用統計など経済指標の改善や欧州債務問題が解決に向けて進捗する期待が高まったことから上昇圧力がかかり、1%を中心とした狭いレンジで推移しました。

国内株式



【10月の振り返り】国内株式市場は、ギリシャの第6次融資に対する不透明感や欧州金融機関の国有化などから一時、年初来安値を更新しました。その後、欧州債務問題が解決に向けて進捗する期待が高まったことなどから上昇する局面もありましたが、タイ洪水被害の影響範囲の拡大や日本企業のガバナンスを巡る問題、さらには円高も加わり、上値の重い展開となりました。

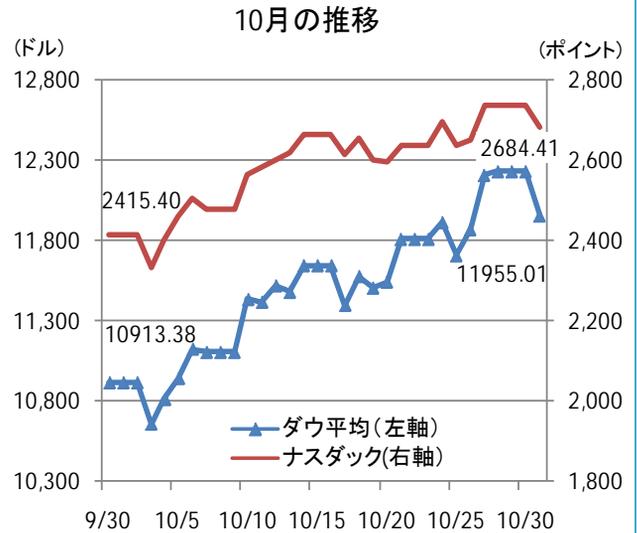
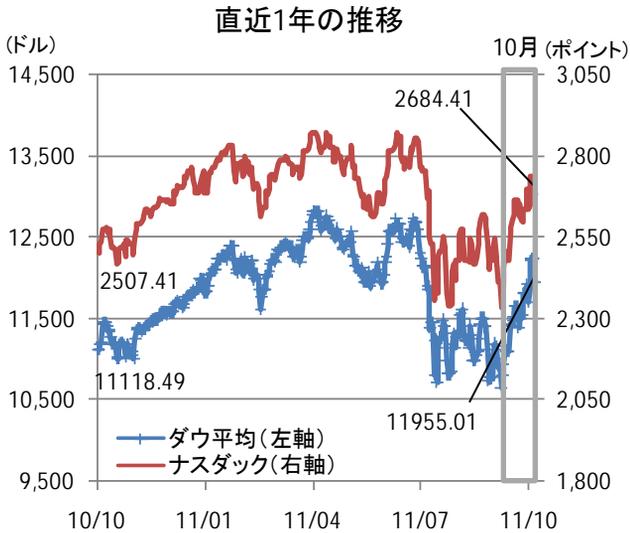
市場振り返り ~米国債券・米国株式~

米国債券



【10月の振り返り】米国10年債利回りは、欧州債務問題によるリスク回避の動きから月初に1.71%まで低下しました。その後、事前予想を上回る経済指標の発表が続いたことや、欧州債務問題が解決に向けて進捗したことから月末にかけて上昇基調で推移しました。

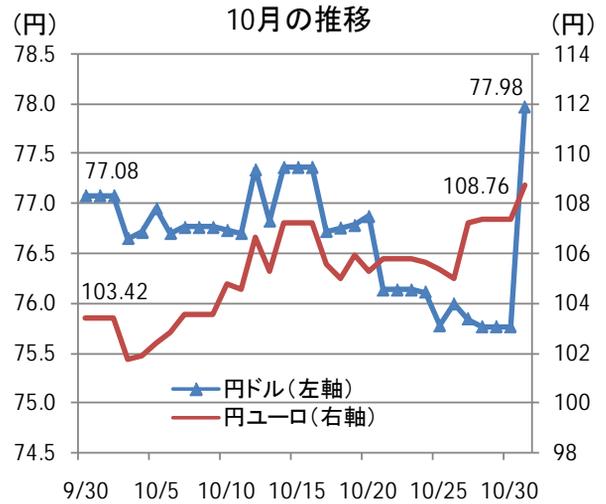
米国株式



【10月の振り返り】米国株式は、月初は欧州債務問題への懸念から下落しましたが、その後、事前予想を上回る経済指標の発表や堅調な企業業績が好感されたことや、欧州債務問題が解決に向けて進捗したことなどから、月末にかけて大きく上昇する展開となりました。

市場振り返り ~為替~

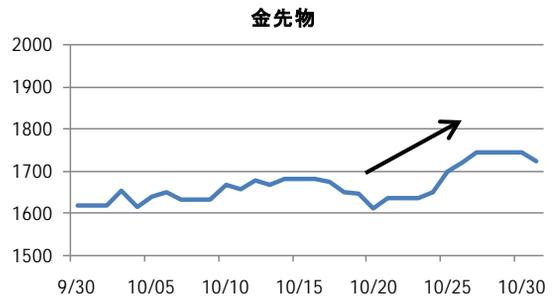
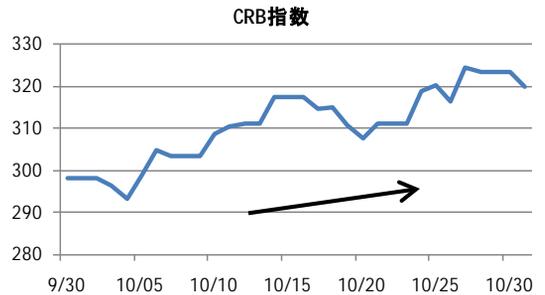
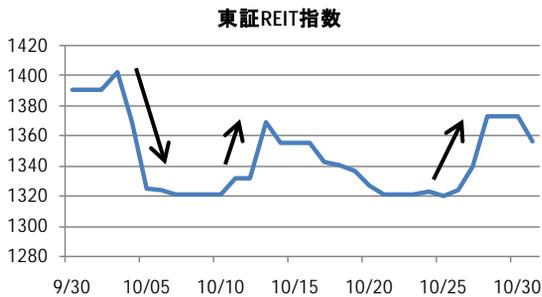
為替



【10月の振り返り】ドル/円は、中旬にかけて円売り介入への警戒感から77円近辺で推移しました。その後、FRBの追加緩和観測の台頭などから円高が進みましたが、月末には為替介入により大きく円安に振れる展開となりました。

ユーロ/円は、欧州債務問題が解決に向けて進捗する期待が高まったことからユーロが買われ、ユーロ高/円安基調で推移しました。

【ご参考】不動産・商品



(出所) Bloomberg



● 経済・市場見通し

▫内外経済

▫国内資産・海外資産・為替

国内景気

<企業部門>

生産は震災前の水準にほぼ回復し、タイの洪水によるサプライチェーンへの影響は短期的かつ軽微とみられますが、足元の円高定着や先進国を中心とした海外経済の減速が懸念材料となっています。一方、企業のキャッシュフローが増加し保有現金が高水準に達しており、新興国を中心とした需要増加に対応して設備投資は堅調な動きになると予想します。

<家計部門>

8、9月の小売業販売額にはアナログ停波やクールビズによる特需の剥落が見られ、回復基調に一服感が出ています。一方、自動車販売は回復が続いているほか、高額品の消費が堅調であるなど、底堅い推移となっています。下期には増産による残業時間の増加も見込まれ、年後半にかけて底堅い推移を予想します。

金融・財政政策

日銀は金融政策決定会合(10/27)で金融資産を買い取る基金の規模を5兆円増額することを決定しました。足元で円高が進んでいる状況に対応して、追加的な金融緩和策を継続すると予想します。

米国景気

<企業部門>

企業業績は堅調に推移しており、企業部門の保有現金は過去最高水準となっています。年後半にかけては税制優遇措置(即時減価償却)が設備投資の押し上げ要因になると想定します。

<家計部門>

雇用の改善ペースは依然緩慢であり、消費者センチメントは低調ですが、小売売上高は堅調に推移しています。足元では株価も回復しており、エネルギー価格の低下や低金利も下支えとなり、個人消費は緩やかな回復が続くと予想します。

金融・財政政策

FRBは2012年6月末までに4,000億ドルの「ツイスト・オペ」を実施することを決定しました。足元ではハト派のFRB高官から追加金融緩和を示唆する発言もあり、景気次第では、追加緩和策が採られる可能性もあります。政策金利については少なくとも2013年半ばまでは、ゼロ金利政策が正当化されるとの見方が維持されており、政策金利の引き上げは2013年後半以降になると予想します。

Note

国内資産・海外資産・為替（今後1年間の見通し）

国内債券

米国景気動向の見方は上方修正されていますが、預貸ギャップの拡大や長期国債の買入れ額増加もあり、10年債利回りは、引き続き1.0%を中心としたレンジでの推移を予想します。年末にかけては欧州債務問題の解決に向けた進捗に伴うリスクオフの動きや復興需要による景気回復などから金利には上昇圧力がかかる展開を想定します。

国内株式

欧州債務問題は足元は解決に向けて進捗しているものの、ドル/円相場が70円台で定着しており、不透明な状況です。2Q決算発表時期を迎えていることもあり、業績見通しに振られやすい展開を想定します。ただし、バリュエーションは割安であり、国内景気は3次補正予算執行に伴う復興需要も見込めることから、金融市場の落ち着きとともに、徐々に水準を切り上げる動きを想定します。

米国債券

米国景気に対する懸念は後退しており、欧州債務問題も足元は解決に向けた進捗が見られます。一方で景気に加速感がないほか、「ツイスト・オペ」の実施も長期金利を押し下げる要因となるため、当面はレンジでの動きを想定します。

米国株式

足元は、欧州債務問題の解決に向けた進捗が見られることや米企業業績が堅調であること、さらに米国景気に対する懸念の後退などから急反発しており、短期的にはスピード調整局面を迎えるものと想定します。その後は欧州債務問題のニュースフローに左右されやすく、ボラティリティの高い状況が続くと予想します。

為替

<ドル/円>

金融市場の混乱によるリスク回避の動きが円買い要因となる一方、日米の金利差縮小は限界的であるほか、為替介入に対する警戒感もあり、70円台後半のレンジ内で推移すると予想します。

<ユーロ/円>

欧州債務問題の解決への期待が高まることによるユーロ高要因とECBの金融緩和観測によるユーロ安要因とが拮抗し、レンジでの値動きを想定します。

	2012年3月末予想値	2012年10月末予想
新発10年国債利回り	1.1-1.3%	1.3-1.5%
TOPIX	850-920	870-970
米国10年国債利回り	2.4-2.6%	2.7-2.9%
米S&P	1,250-1,350	1,300-1,450
円/ドル相場	76-84円	79-87円
円/ユーロ相場	106-117円	108-119円

注) コメントは今後1年程度の市場動向を予想するものです。



ご参考

 市場環境の推移



【ご参考】市場環境の推移

1. 主要資産

	11/03月	11/08月	11/09月	11/10月	前月比	前年度末比
国内債券						
NOMURA-BPI総合	328.52	334.34	335.57	334.96	- 0.18%	+ 1.96%
NOMURA-BPI(国債超長期)	185.06	192.43	195.65	194.50	- 0.59%	+ 5.10%
10年国債利回り(%)	1.26	1.04	1.04	1.05	-	-
国内株式						
TOPIX(配当込み)	1,102.75	978.79	976.39	980.14	+ 0.38%	- 11.12%
日経平均株価	9,755.10	8,955.20	8,700.29	8,988.39	+ 3.31%	- 7.86%
外国債券						
Citigroup世界国債(円ベース、日本除き)	290.67	286.25	280.68	288.04	+ 2.62%	- 0.91%
米国10年国債利回り(%)	3.47	2.22	1.92	2.11	-	-
英国10年国債利回り(%)	3.69	2.60	2.43	2.44	-	-
ドイツ10年国債利回り(%)	3.35	2.22	1.89	2.03	-	-
外国株式						
MSCI-KOKUSAI(GROSS、円ベース)	1,209.12	1,022.10	934.12	1,054.30	+ 12.87%	- 12.80%
ダウ平均(工業株30種)	12,319.73	11,613.53	10,913.38	11,955.01	+ 9.54%	- 2.96%
ナスダック総合指数	2,781.07	2,579.46	2,415.40	2,684.41	+ 11.14%	- 3.48%
英国(FTSE)	5,908.76	5,394.53	5,128.48	5,544.22	+ 8.11%	- 6.17%
ドイツ(DAX)	7,041.31	5,784.85	5,502.02	6,141.34	+ 11.62%	- 12.78%
中国(上海総合指数)	2,928.11	2,567.34	2,359.22	2,468.25	+ 4.62%	- 15.71%
MSCI-Emerging(ドルベース)	2,105.28	1,890.76	1,615.42	1,829.55	+ 13.26%	- 13.10%
為替						
円/ドル相場(ロンドン16時)	82.88	76.47	77.08	77.98	+ 1.16%	- 5.92%
円/ユーロ相場(ロンドン16時)	117.62	110.10	103.42	108.76	+ 5.16%	- 7.53%

2. その他資産

	11/03月	11/08月	11/09月	11/10月	前月比	前年度末比
商品						
CRB指数	359.43	342.57	298.15	319.84	+ 7.27%	- 11.01%
WTI原油	106.72	88.81	79.20	93.19	+ 17.66%	- 12.68%
金先物	1,438.90	1,829.30	1,620.40	1,725.20	+ 6.47%	+ 19.90%
ヘッジファンド						
HFRX Global Hedge Fund JPY Index	109,049.30	102,625.43	99,518.48	100,312.89	+ 0.80%	- 8.01%
不動産						
東証REIT指数(配当込)	1,541.07	1,467.79	1,390.73	1,356.22	- 2.48%	- 11.99%
G-REIT指数	406.54	371.60	330.01	377.72	+ 14.46%	- 7.09%

(出所) Bloomberg

本資料は、お客様の運用戦略や投資判断等の参考となる情報の提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資等に係る最終的な決定は、商品に関する詳細資料を参照の上、お客様ご自身のご判断で行なっていただきますようお願い申し上げます。

シミュレーションやバックテスト等のデータ、運用実績やリスク・リターン等による商品分類図を含めた本資料の内容は、将来の運用成果の向上を保証するものではありません。また、データの一部は、弊社が信頼できると判断した各種情報源から入手した情報等に基づくものですが、その情報の正確性・確実性について弊社が保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、今後の金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が変更となる場合がございます。

本資料に関わる一切の権利は、他社資料等の引用部分を除き住友信託銀行に属し、いかなる目的であれ本資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断り致します。

本資料の内容に関して疑問に思われる点、ご不明な点等がございましたら、弊社営業担当店部等にご照会下さいますようお願い申し上げます。